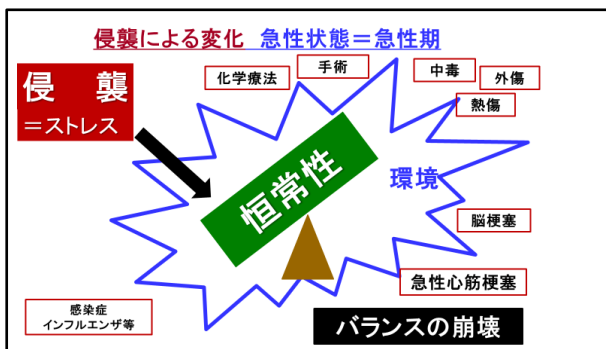


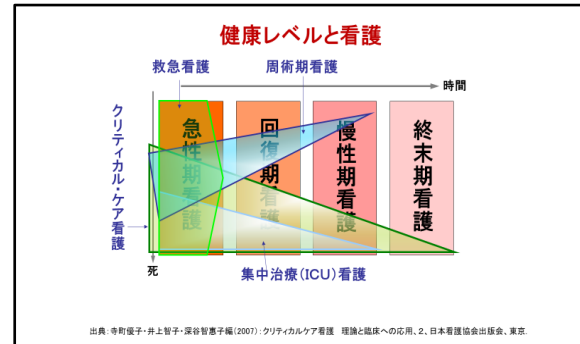
## 2021年度理系チャレンジ講座（第3回）を実施しました

8月25日（水）に医学部看護学科の末弘 理恵先生を講師に迎え、「生命の危機状態にある人を救う看護」というテーマで、理系チャレンジ講座の第3回を実施しました。遠隔配信した大分雄城台、大分鶴崎、安心院、日田、中津南、国東、別府翔青、三重総合、臼杵、竹田の10校277名が受講しました。

末弘先生は自己紹介ののち、大学の講義がおもしろくなるコツを教えてくださいました。1点目は、なぜ、どうしてと疑問を持ちながら考えてみること。2点目は教員の学問観や人間観を知ることです。そして今日の目標は①生命の危機状態にある人の状態を知る ②生命の危機状態にある人を救う看護を考える ③「大学で学ぶこと」「看護学」に興味・関心を向ける の3点であることを提示しました。最初に生命の危機状態にある人について受講生に対しイメージマップを使って考えさせ、DVDを視聴しながら生徒自身に深く考えさせま



した。その後、急性期について「原因、侵襲に対する生体反応、適応のメカニズム等」を専門用語を交えながら分かりやすく説明していただきました。後半は、急性期にある患者や家族への看護、クリティカルケア看護の定義（生命を脅かす健康問題に対する人間の反応を診断し、治療すること）等を説明していただき、



え、そこから自分の気づかなかったことを話してくださってとても役に立ちました。医療ケアをしながらも患者さんとのコミュニケーションをとり患者が安心できる看護師になりたいと思いました」という意見があり、将来医療従事者になりたい生徒の貴重な体験になりました。

問を持ちながら考えてみること。2点目は教員の学問観や人間観を知ることです。そして今日の目標は①生命の危機状態にある人の状態を知る ②生命の危機状態にある人を救う看護を考える ③「大学で学ぶこと」「看護学」に興味・関心を向ける の3点であることを提示しました。最初に生命の危機状態にある人について受講生に対しイメージマップを使って考えさせ、DVDを視聴しながら生徒自身に深く考えさせま

### 急性の状態にある患者・家族への看護

- a. 生命の維持
- b. 苦痛の緩和
- c. 情緒的安寧と精神的機能の回復、意志決定支援
- d. 症状悪化および合併症の予防
- e. 機能障害の改善と早期リハビリテーション
- f. 患者・家族と医療者間のコーディネート
- g. 患者や家族を支える人的・物的環境の調整

【出典】  
林成子、佐藤まゆみ（2010）：成人看護学 急性期看護Ⅰ 総論・手術前看護 改訂第2版、南江堂、東京  
小松志子、井上智子他（2010）：系統看護学講座 成人看護学総論第13版、医学書院、東京  
をもとに作成

最初に挙げた3つの目標について再度振り返り、自分の考え方の変容について確認をしました。

講義後のアンケート調査は、「総合的に判断して授業がよかった」（99%「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計。以下同じ）、「受講生は授業に意欲的に取り組んでいた」（100%）という結果でした。「自分でま

### 大分大学医学部看護学科

#### 教育目標

人々が心身共に健康な生活を営めるよう、適切な看護を行うことができる専門的知識と技術の修得を促し、看護学の発展と地域住民の保健・医療・福祉の向上、ひいては国際社会への貢献ができる、豊かな人間性を備えた人材を養成します。

#### アドミッション・ポリシー admission policy :AP

- 1 看護を通して社会に貢献しようとする意志と、他者の喜び、苦しみを分かち合える温かい心を持っている人
- 2 日進月歩の医療及び激動する社会の変化に対応しうる知識と技術の修得のため、たゆまぬ努力と自己研鑽(生涯学習)を重ねる人
- 3 国の内外を問わず、社会に起こっている問題に関心を持ち、それに対して自分の考えが述べられるような教養を備えている人
- 4 何ごとにも積極性を持ち、多くの人と交流ができる社会性を備えている人